



いいもの成らせるさくらんぼ便り

収穫後管理編「絶対成らせる」さくらんぼ通信

Vol. 1 来年も絶対に成らせる！次期作に向けた要因解析をしっかりと！

1 安定生産に向けて～要因解析と対策の検討～

- ◆ ミツバチの導入や人工受粉の徹底により、前年を大きく上回る作柄が確保されました！
- ◆ 「佐藤錦」の結実は、園地間差が大きかったため、結実不良となった要因を解析し、対策を徹底しましょう！



マメコバチがない
園地はミツバチを導入

〔2年間を通して「佐藤錦」の結実が良好であった園地の特徴〕

【受粉樹】

- ・受粉樹の割合が4～5割で品種の数が多い(約5品種)
- ・切り枝を設置

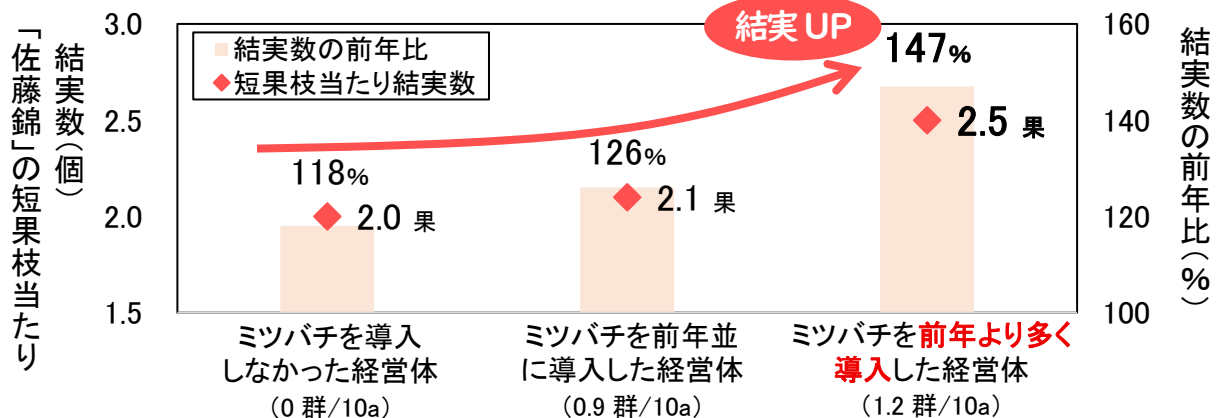
【訪花昆虫】

- ・リース型ミツバチの積極的な導入(20aに1群以上)
- ・訪花昆虫の密度が高い

【結実対策】

- ・人工受粉の実施(天候不順時は、3回以上)
- ・霜害等気象に応じた対策

■ ミツバチ導入の効果(令和8年)



〔来年に向けた対策〕～園地の現状を解析し、課題にあった対策を計画的に実施～

<現 状>

<対 策>

品種構成

受粉樹 3割未満



切り枝の設置、高接ぎ、新植

受粉樹 3～4割



切り枝の設置、高接ぎ

受粉樹 4～5割以上



切り枝の設置

訪花昆虫

マメコバチ いない

ミツバチの積極的な導入
(1 群/20a 以上)

マメコバチ 十分活動

ミツバチの補助的な導入
(1 群/20～30a 程度)

結実対策

開花期の天候
強風・低温人工受粉の徹底
(5 分咲き、満開期に加え 3 回以上)開花期の天候
概ね平年並人工受粉の実施
(5 分咲き、満開期の 2 回程度)

病虫害防除の徹底(早期落葉防止)、健全な樹体生育の確保

2 次年に向けた今後の管理

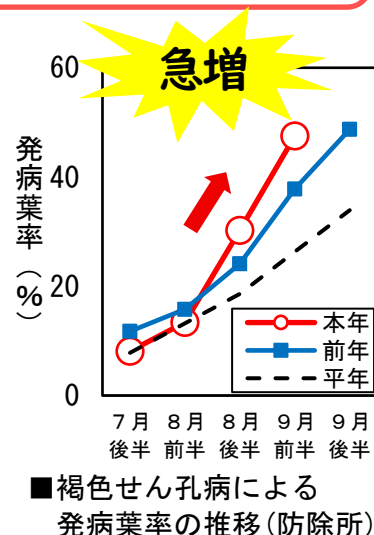
- ◎ 褐色せん孔病による**早期落葉が急増**！
 - ◎ 成りすぎた樹の**樹勢低下を防止**！
- ⇒ **適切な防除と管理で樹勢の維持と花芽の充実を確保**

(1) 褐色せん孔病防除の徹底

- ◆ 発病がみられる園地では、**直ちに薬剤散布を実施**！
- ◆ **9月も感染・発生を繰り返すため、薬剤散布を徹底**！
(状況に応じて**10～14日間隔**で定期的に防除)
- ◆ 被害落葉は、収集して適切に処分(感染源の撲滅)



- ・ 早期落葉は、**次年の結実不良につながる**！
- ・ 絶対に成らせるため、**9月中も2～3回程度薬剤散布を実施**



(2) 基肥・灌水

- ◆ 基肥は、根が活動している9月中旬までに施用
 - ・ 年間施肥量のうち礼肥施用分の残りを施用
 - ・ 樹勢が低下した樹は完熟たい肥を連年施用
 - ・ **灌水で基肥を確実に効かせる**

- ・ **成りすぎた樹**
 - ・ **樹勢が低下した樹**
- では例年より多めに施用

(3) 夏季剪定 < 必須作業ではありません！ >

- ◆ 隣同士の樹の枝が重なっていたら ⇒ 間伐樹の 縮伐・間伐
- ◆ 樹冠内部が暗い樹、特に樹勢が強い樹 ⇒ 大枝の整理(最小限の実施)
- ◆ **ノコギリによる間引き剪定を中心で最小限に！**
- ◆ **気温が下がってきた9月に実施**(日焼け、双子果防止)

受粉樹は切らない

夏季剪定の**必要が無い**園地・樹



- ・ **光が樹冠内部**にも差し込んでいる
- ・ 隣接樹との**余裕がある**園地
- ・ 樹勢が**適正～弱い樹**

夏季剪定が**必要な**園地・樹



- ・ **光が樹冠下**に届いていない
- ・ 樹間の**空間がない**
- ・ 樹勢が**強い樹**(強勢な枝や徒長枝が多い樹)

適切な施肥と防除で、来年も『いいものをたくさん成らせる』園地をつくろう！

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課
TEL:023-621-8291 TEL:0237-86-8301 TEL:0237-47-8630

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課)